

ヘルプカード・ヘルプマーク ミニ事例集



令和元年12月 Vol.1

大田区自立支援協議会
防災・あんしん部会

助け合いのしるし

ヘルプマーク

障がいのある方が、災害時
や日常生活の中で困った
時に、情報を伝えるための
自助ツール

ヘルプカード



こんな使い方がありました。

○倒れて救急車で運ばれたときに
ヘルプカードに既往症とか服薬を
記入してあったので、救急隊員に
助かったと言われました。

○視覚障害があるので、バッグの外
だとみられてしまうので、障害者
手帳に挟み中に入れていきます。

○知的障害も自閉症もある子どもを持つ親です。この前迷子になってしまった時に、話ができないので、ヘルプカードを見た人が連絡をしてきてくれました。

こんなメリットを感じています。

◎聴覚障害者です。私の障害は、目には見えないのでマークを付けています。

◎もしものときに対応してもらえる安心感があります。

◎見守りキーホルダーは連絡の手間があるが、ヘルプカードはその場で対応可

こんなことにも使えるかもしれない。

- ◆高齢になり、目が見えにくく耳も聞こえづらいので、周囲の人に気遣ってもらえると助かります。
- ◆持病のある家族。外出時に発作で倒れた時に役に立つかもしれない。
- ◆祖母が認知症になり徘徊もあります。今まで交番に迎えに行くこともありましたが、ヘルプカードだと、連絡をもらえるので、家族は安心です。

